



「モビリティウィーク」&「カーフリーデー」ふくい2009 特集



合言葉はホジロバ!

関連記事 2ページ〜9ページ

撮影/畑

活動報告

9月19日 MW&CFD (徒歩の日)
20日 MW&CFD (バスの日)
21日 MW&CFD (電車の日)
22日 MW&CFD (自転車の日)
10月3日 北陸連携並行在来線市民会議発表会
(富山市)
9日 MW&CFD 実行委員会 (最終)
10~12日 全国バスマップサミット (沖縄市)
15日 わがまち LOVE・アース ラジオ生出演
16日 わがまち LOVE・アースコンテスト選考会
16日 ROBA10 月例会

今後の予定

10月30日(金)~31日(土)
LRT 都市サミット (広島市)
11月1日(日) LRTまつり in 広島 (広島市)
3日(火) 福井市環境フェア
14日(土) 福井市まちづくりフェア
20日(金) ROBA11 月例会

ゆうじんの部屋 書籍紹介

なぜ正直者は得をするのか 「損」と「得」のジレンマ

藤井聡著 幻冬舎新書 740円+税

私は、宗教じみた道徳教育は嫌いである。戦争に人を駆り立てるナショナリズムも嫌いである。でもゲームの理論と歴史は正直者が多い社会は安定であることを証明している。最新の理論のおかげで、宗教や排外主義とは無関係に道徳やナショナリズムの必要性を説くことができるようになった。最近売れっ子の土木計画学の先生の著書であるが、この本は、私が読んだ中で最高の道徳書だと思う。すぐに都市計画や交通計画に役立つわけではない。でも、政治・経済・土木・生物など、多くの分野を勉強してきた人に役立つ書だと思う。無条件に推薦する。

東京会員 美濃部 雄人 Minobe Yujin

モビリティセンター報告

モビリティウィーク&カーフリーデーふくい 2008 の企画の出発点で、福井市のミーティングテーブル対象事業のメインとして企画されたのが、このモビリティセンターでした。

福井駅西口交通広場に9月19日(土)から22日(火祝)までの4日間設置しましたが、初日を除き、1日あたり100人前後の利用があり、元々、福井駅での公共交通の結節が十分でなく、案内看板・表示も不備であることもあり、予想通りモビリティセンターのニーズが大きいことがわかりました。

マスコミも、この取り組みを大きく取り上げ、番組の中で、福井市が実際の設置を検討するとのコメントも触れられていました。



バス・電車案内センター、観光・まちなか店舗案内センター

のりのりマップ、時刻表、既存の観光パンフレット・観光地図を使って対応。観光客がバスや電車の乗り場を聞いたり、観光地への行き方や、どのルートを選択するのが良いかを聞いたり、越美北線の列車の待ち時間内に回れる福井市内の観光スポットを聞いたり、さらには福井名物の蕎麦やソースカツ丼、魚介類を食べられる店を紹介して欲しいと言ってくるものが多かったようです。

また、福井市民が、福井鉄道・えちぜん鉄道・京福バス・すまいるの時刻表をもらいに来るケースも結構ありました。

マイ時刻表の作成を依頼される方ももちろんありました。私も作ってもらいましたが、これがたいそう便利で、以来、電車だけでなくバスにも乗る回数が増えました。



レンタサイクルセンター

日によって稼働率は違いましたが、やはり一定の需要があるようです。常設して欲しいという要望も結構出ていました。市内観光にレンタサイクルを利用する人が多く、りんりんマップや観光パンフレット等の配布とは密接不可分で、観光・まちなか店舗案内センターともう少し近接して設置し、3つのセンターが一体とする必要を感じました。

モビリティウィーク&カーフリーデーパネル展

風との戦いでした。台風が近づいており、常に突風が吹き荒れ、風で飛ばされてパネルが破壊され、何台かの展台も木が折れてしまいました。しかし、展示していると熱心に見ていく人も居り、モビリティセンターで情報提供・啓発するツールとして効果的であることがよくわかりました。

自転車タクシー・エコ丸くん試乗会

これは予想外に効果がありました。特にエコ丸くんは人目を引き、よく歓声があがっていました。

モビリティクエスト

19日は、クイズのハードルが高かったとのことで参加者が少なく、20日は大学生スタッフの皆さんの機転でハードルを低くし、声掛けもしたところ人気が出、子どもたちが大勢集まりました。



まちかどコンサート

コンサートが行われた19日は特に人通りも少なく、また目立つコンサート会場ではなかったので、合唱団の皆さんには少し申し訳なかったなと思いました。また違う機会と会場を作りますね。

トークショー(かしこい公共交通の使い方)に参加して 岸本 雅行

19日の午後、響のホールで開かれたトークショーにパネラーとして参加しました。トークショーは福井大学の川上洋司先生の司会で、地図研究家の今尾恵介氏、FBCラジオアナウンサーの阿部真由美氏、そしてROBA会員として私が参加して行われました。まず私が最初に、福井県民の過度のクルマ依存の現状ということで口火を切らせていただきました。

町内の公民館で開かれる会議に、歩いて数分にもかかわらずクルマで参加する多くの町民、職場での泊りがけの忘年会に幹事が大型バスをチャーターしたにもかかわらず、ほとんどの人が自分のクルマで会場へ行ってしまった例など、絶対にクルマでしか移動しない身近な人々のお話をさせていただきました。クルマが自分の体の一部分になってしまい、無意識にクルマのキーを手にしてしまう「生活習慣病」のような状態が私の周囲では日常化しています。阿部氏もラジオのリスナーからの意見として、過度のクルマ依存の例を紹介されました。東京から来られた今尾氏は、ここまで進んだクルマ依存に驚きながら、東京の人間は通勤の乗換などで非常によく歩くと話されていました。この話を聞きながら、クルマ依存率全国トップクラス(平成17年度福井都市圏パーソントリップ調査結果、当然、徒歩の割合は全国最低レベル)の福井県は、このままいけば「健康長寿の県」のキャッチフレーズを近い将来返上しなければならないのではないかと、ふと心配になりました。

公共交通の利用に関しては、私が実践している電車通勤の報告もさせていただきました。就職して以来ずっとクルマ通勤を続けていましたが、一昨年春の転職を機に、思い切ってJRで通勤(駅まではクルマでパーク・アンド・ライド)することにしました。駐車料金は必要ですが、往復の車中でのおんぶりと読書ができ、心豊かな通勤ができるようになったことが私にとっては大きなメリットでした。

今尾氏、阿部氏のお話も示唆に富むものが多く、対話をしながら多くのことを学ばせていただきました。最後に川上先生が、「多様な『移動』手段を持つことが、みずからの生活の幅と質を高める。」「質の高い多様な移動手段が地域やまちにあることが、地域やまちの魅力を高め、活性化に繋がる。」とまとめていただきました。今尾氏には、地図・鉄道に関する素晴らしい本をこれからもたくさん出版していただき、公共交通の大切さを日本中に発信していただきたいと願っています。阿部氏には、ラジオというメディアを通し、福井県民に少しでも公共交通に目を向けるように訴えていただきたいと願っています。私もROBAの一会員として、福井の公共交通の活性化のために微力ながら努力していきたいと思っています。

最後に、仕事の都合でほとんど準備に参加できなかったにもかかわらず、このような発言の場を与えていただき、たいへん申し訳ないという気持ちでいっぱいです。準備のために奔走された多くのROBA会員の皆様に、心から御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

MW & CFD 作文・小論文コンクールのまとめ

初めての試みとなった作文・小論文コンクール。多くの作品が寄せられ、一定の役割を果たしたと思われる。中高生とその家族に公共交通について考えてもらうイベントとして定着させたいですね。

MW & CFD 作文・小論文コンクール 入賞作品一覧

モビリティウィーク&カーフリーデー大賞	「路面電車と電気自動車のハイブリッド開発」 仁愛女子高校1年 赤谷恵理(あかたに えり)さん
FBC賞	「地球に優しい公共交通社会」 至民中学校 3年 飛山 遙(とびやま はるか)さん
えちぜん鉄道賞	「公共交通機関をより利用しやすく」 高志高校 1年 五十子智陽(いがっこ ちはる)さん
京福バス賞	「レッツゴーバスター」 社中学校 1年 前田依未(まえだ えみ)さん
福井鉄道賞	「通学を通して」 藤島高校 2年 中山翔太(なかやま しょうた)さん
まちづくり福井賞	「交通機関の利用向上について」 足羽中学校 3年 川上 陽(かわかみ みなみ)さん
ふくい路面電車とまちづくりの会賞	「電車に乗ってみえるもの」 高志高校 1年 谷口絵里奈(たにくち えりな)さん

大賞作品介绍

家族で移動する時は毎回自動車を使用します。勿論ガソリン車です。父が運転する自動車の前をバスが黒い煙を出しながら走るのをよく見かけます。父に「このクルマからも黒い煙が出ているの？」と聞くと父は「このクルマはガソリン車だから黒い煙は出ていないよ」と答えてくれました。私は安心しました。ところが「CO₂は排出している。これが問題なんだ」と話してくれました。私には何が厄介なのかあまり分かりませんが、いまこそ環境対策が必要な時期であることは十分理解しています。そこで、電気自動車の開発はかなり進んでいるようで、間もなく市販されるように聞いています。次ぎに路面電車の開発、これはどうなっているのでしょうか。私の学校の前を路面電車が走っていますが、なんとなく重苦しそうに見えます。今後の路面電車は細い道もすいすいと走っていく、そんな時代がこないでしょうか。路面電車も電気自動車のように、いつでも充電できるバッテリーを搭載し、充電は太陽光発電や地面からの誘導で常時充電するようにすれば、道路上空の電線がいらなくなります。こうすれば、道路も余分な電柱を立てずすみ道路全体が広々と使えるのではないのでしょうか。「路面電車が走ると、道路が混雑する」と聞きますが、思い切って、路面電車が走る道路は、路面電車・歩行者・自転車専用道路とし、自動車は通行禁止とします。ケースによっては電気自動車は通行可とします。ここまで環境対策を徹底してはいかがでしょうか。路面電車の線路は都市部の隅々まで張り巡らせ、ちょっとしたお買い物でも利用できるようにするのです。老若男女問わず便利になるように。ちょっと残念なことは、都市部から外れる方々との差がつく事。この部分においては、電気自動車バスが頑張れないでしょうか。路面電車と電気自動車のハイブリッド開発で、いつまでもきれいで住みよい福井市であってほしいと思います。また、これが全国の中小都市の見本となればこれもまた嬉しいことです。

応募作品数

至民中学校	124	足羽中学校	26	社中学校	5	明道中学校	5	藤島高校	6
高志高校	186	羽水高校	4	福井商業高校	33	仁愛女子高校	292	合計	681

(まとめ 三輪)

バスの乗り方教室 9月20日(日)『バスの日』 参加者数：152人

バスの日は明治36年(1903年)9月20日、京都市で日本初めてバスの営業を行った日です。

小学生の家族連れを中心に、路線バスの乗り方の教室を行ない、子どものうちに公共交通の抵抗感を無くし、安心して公共交通の活用ができるように、県バス協会・京福バスとの共催で実施しました。予想以上に、いろんな年齢層の方が興味を示し、参加してくれました。

「基礎講座」には、幼児のいる家族連れが多かった。小さな子どもたちがバスの乗り降りの初体験をして、いつものクルマでのお出かけとは違った、楽しい経験をしたようです。これが将来大きくなってから、バス電車利用への抵抗が軽減され、クルマに頼らない移動を考えることにつながる事が期待できそうです。

「応用講座」には、お年寄りグループは車椅子を使わないといけないのために一度体験しておきたいとか、若い夫婦は将来のことも考えてとか、ときには、中学生のグループは面白そうだし一度やってみたかったと興味深そうに乗ったり押したりとか、たくさんの方がバスへの関心を示してくれて、収穫は多かった。

応用講座コース お年寄り役

高齢者擬似体験グッズを使って乗降体験

応用講座コース 車椅子利用者役

車椅子に乗って乗降体験

応用講座コース サポーター役

お年寄り役、車椅子利用者役の利用者をサポートする役

応用講座3コースを受講した卒業生には、『バス乗りの達人証』を発行しました。



(県バス協会発行『バスの乗り方』)



(みんなで積極的に体験する中学生)

『バス乗りの達人証』を持つことによって、バスの乗り方やその楽しさを他の人たちにも教えてあげる役割を担ってもらい「公共交通の普及員」となってもらえることを期待しています。

また、22日の『自転車乗りの達人証』などと合わせて『ホジロバ交通の達人賞』の獲得を目指して、継続的にチャレンジしてもらおうことも狙っています。



(『バス乗りの達人証』)

今回一番の大きな収穫は、県バス協会やバス事業者が積極的に取組んだことで、自分たちのイベントとして認識していただけたことです。来年もいっしょにいろいろ工夫してやりたいと、後片付けをしながら盛り上がりました。

(担当：林 博)



<p>イベント事業名</p>	<p>カーフリーデー・りんりん広場</p>
<p>内 容</p>	<p>カーフリーデーを「自転車の日」とし、車から開放された1日にしよう、という取組み。まちなかのある一定の道路（アップルロード）に車が通らない空間「カーフリーデー・りんりん広場」をつくり、通常は自動車が走行している場所（道路）で開放的な空間を体験してもらった。</p>
<p>実施日</p>	<p>9月22日</p>
<p>来訪者総数</p>	<p>183人</p>
<p>実施の効果</p>	<p>会場では、3人乗自転車や電動アシスト自転車などの試乗を通じてマイカー依存となっている生活を変える為の手助けとして来街者への情報提供に一役買った。3人乗自転車は子育て中のママさん中心に実際に子どもを乗車させ体験を通じて環境の意識につなげた。</p> <p>電動アシスト自転車は60歳前後の方の引き合いが多く試乗希望者が絶えなかった。すぐにでも購入を希望されたり、運転のしやすさを実感したりして、マイカーからの自転車へのモダリティシフトが多いに期待される。</p> <p>また、この日は自転車に関するルールやマナーに関するクイズを小学生向けに行なった。対象が小学生だけに必ず親が同行していることもあり、親に対するルールの再確認という効果もあった。</p>



アップルロードを、クルマが通らない空間「カーフリーデー・りんりん広場」として、自転車の4つの体験、環境対策への取組み「ハチドリ計画2009」の抽選会場として開放し、クルマのない、人中心の空間を体験してもらった。

この日は、世界で2200都市以上が参加する「カーフリーデー」であることもPRし、世界共通のテーマであるCO2削減への取り組みの一端を担うことができた。

ホジロバ



あなたは、平成21年9月22日
カーフリーデー&「自転車の日」に
開催された、自転車関連の法改正クイズなどにおいて
優秀な成績を修められたことをここに証します。

自転車乗りの達人証

NPO法人 ふくい路面電車とまちづくりの会

自転車関連ルール・マナークイズに正解した人には『自転車乗りの達人証』を進呈した。これを持つことによって、自転車の乗り方やその楽しさを他の人たちにも教えてあげる役割を担ってもらう「公共交通の普及員」となってもらえることを期待している。

また、他のイベントと合わせて「ホジロバ交通の達人賞」の獲得を目指して、継続的にチャレンジしてもらう予定でいる。



「クルマをおいて街へ出よう」と呼びかけても、「何で行ったらいいの?」と問いかけのある子どもを抱えたお母さん方の強い味方、公認3人乗り自転車の試乗会を通じて、いつでも気楽にクルマをおいて出かけることを実感してもらった。

- ・夫婦で3人乗自転車試乗中
(左上の写真)
- ・電動アシスト自転車試乗中
(左下の写真)



記：内田桂嗣

講演会&トークショー

今尾さんの講演会では、同一地域の昔と今の地図を出されて市街化区域の変化を示していただき、またトークショーでは、パネラーが普段の実体験を元に車との係わりをお話いただき、大変興味深いものでした。残念ながら参加者が予想外に少なかったため、チラシを配布するだけでなく、FBCの「みんなの伝言板」で紹介する等、もう少し積極的に宣伝しておいた方がよかったですと思います。

作文コンクール

入賞した生徒さん7名全員が出席され、作品を朗読していただいたのが印象に残っています。FBCテレビ「イケてる福井」でも、入賞者1名の録画インタビューが放映されていました。三輪さんにはこのプロジェクトの責任者として大変ご尽力いただきましたが、できれば来年以降も毎年の恒例行事として定着させ、車の使い方について考え直す機会にしていければと思います。

モビリティセンター

問い合わせ内容で多かったのは、福井駅周辺の散策マップ、路線バス(特に大野方面)乗り場、永平寺・東尋坊・恐竜博物館への行き方、福井駅周辺の飲食店(特に魚料理のおいしい店)でした。時刻表だけでも帰る人も多かったですが、京福バスの時刻表6種類はセットにしてすぐに渡せるようにしておいてもよかったですと思います。普段京福バスを利用していても、どの色の時刻表にどの路線が記載されているかまでは覚えていないため、目的地への時刻表を探すのにかなり手間取っていました。

JRの時刻表についての問い合わせも多かったので、来年以降どうするか(実行委員会メンバーに入っただけか)検討する必要がありそうです。

なお、現場が強風のため2日目からパネル展は中止していましたが、できればその旨お断りの張り紙をしておくべきだったと思います。

マイ時刻表作成コーナー

初日からパソコンとプリンタの相性が悪く、順調に稼働しなかったのは残念でした。今後は、ROBAのホームページ上から申し込みを受け付けて電子メールで返信するシステムも可能か検討してみる価値はあると思います。個人情報保護の問題をどうクリアするかが課題ですが。

モビリティクエスト

9/20の問題を見せていただきましたが、5問中3問が福井駅周辺に関するもので、残り2問が足羽山と福井大学に関するものでした。初回なので、あまり遠くに行かなくても参加できるように配慮されたのだと思いますが、今後は上級編として福井新(赤十字病院)ベル、県立病院あたりもチェックポイントの候補にされたいかがでしょうか。回ったチェックポイントの数によって、賞品に差をつける方法もあるかと思っています。

参加者は意外に少なかったようで、スタッフ(福大のアルバイト学生)は、小学生を見かけるたびに直接声かけて参加を呼びかけていました。やはり、私が実行委員会で提案していたような無料招待方式(事前申し込み制で各社共通の通行手形贈呈)にした方が、事業者の負担は増えますが、イベントとしての価値は高まったのではないのでしょうか。

その他

今年は5連休で遠出した人も多かったためか、春にレンタサイクルを実施した時に比べると、お客さんも少なく感じました。バスの日は9/20、カーフリーデーは9/22に決まっているため、毎年恒例の行事として時期を固定するのもいいですが、時期をずらして10月下旬から11月に(紅葉の時期に)実施してもいいのではないかと思います。

今年のカーフリーデーは楽しかった！

(報告：はたみゆき)

今年のカーフリーデーは個人的にとっても楽しめた内容でした。シルバーウィークだったこともあり、中心商店街は連日閑散としていたのですが、盛りだくさんのイベントで飽きのこない内容だったと思う。たくさんの方の協力の甲斐があって、何とか4日間を乗り切りました。毎年開催していますが、回を重ねるごとに内容も充実し、人とのつながりも増え、スタッフのレベルもアップし、充実感あふれるイベントでした。



かしこい公共交通の使い方 シンポジウム

車を運転できない学生の目線から作文が書かれているので、どれも素晴らしい内容だったと思います。受賞された方の家族の方の意識が、この受賞をきっかけに少しでも変わっていくことを期待しています。なんと、偶然ですが、受賞した方のお父様が私の勤務先の先輩同僚だったことが分かりました。この小さなキッカケが大きな輪になりますように……。

バスの乗り方教室

県バス協会の方や京福バスの方が、やる気満々ととても頼もしかったです。ピントンも無事バスに乗ることができ、子供がとても喜んでいました。電車やバスの乗り方が分からない大人も多い中、このようなイベントは継続していくといいですね～。

「百聞は一見にしかず」まさにこのことです。



あなたのマイ時刻表作ります

どんなワガママにもお答えします！とすることで、交通機関を乗りついて目的地に行きたい、でも時刻表は1枚だね。というお客様に出会いました。“なっ なんと！！” はやしやさんと松原さんがアレコレと駆使して、乗りついて行く場合の時刻表も1枚でできることが実証されました！「おおおおおー」と思わず歓声が。今度、自分でも作ってみます



カーフリーデーりんりん広場

今、話題の3人乗り自転車や電動アシスト付自転車等が勢ぞろいしていました。3人乗り自転車は子供がライダーになった気分で乗れる工夫(ハンドル)があって、試乗した子供は降りようとしませんでした。確かに良かったからなあ～。それと、折りたたみ式電動自転車は凄い！出だしが凄い！ちょっとだけ気をつけないとダメかも。



～ スタッフのみなさん ありがとう！ ～



MW&CFD 参加感想

モビリティセンターで行き方や時刻を説明する際、ばすでんしゃネットふくい、あるいは、ばすでんしゃナビふくいから印刷して対応することが多くありました。私が手書きで時刻を書いて説明していたら、My時刻表を手渡すところを撮影したかったTV局の人が「My時刻表があるのに何故手で書くの？」と聞いてきました。観光で利用するため、乗りたい便がわかればよいこと、My時刻表の範囲外なので作れないこと（丸岡城まではデータがないし、徳島県まで作れないよね）をその場で説明して、海外のモビリティセンターの写真を送る際にモビリティセンターの意味や、通常の観光案内所との違い、My時刻表の使い道などをメールで説明しておきました。作成してお渡しした主婦の方がすごいね～と感動されていて、私もうれしくなりました。日本開発構想研究所のかたに感謝です。今後もいろいろなイベントで活用できると思います。

自転車のイベントでは、エコ丸君が人気で女子学生や子供連れの家族が駅前で遊べる機会を提供できたと思います。自転車クイズは、手伝ってくれた学生も慣れてうまく子供をほめていたので、自転車の達人を手にした子供の笑顔が印象的でした。午前中の報道を見て、自転車ルールを復習しようというおばあさんも来ていました。素晴らしいところがけです。

初めて電動付自転車に乗りましたが、ペダルをこいだ瞬間に後ろから押されるような感触でした。同じ週にも視察のためレンタサイクルに乗る機会があって、坂道を上りましたが平地と同じように進みました。私は普通にこいでも大丈夫なので今のところは使わないと思いますが、坂道の多いまちで自動車に頼らないようにするためには必要な実感できました。

新しい3人乗り自転車も前と後ろに子供を乗せて走りました。お母さんが一度試したあと、子供が喜んで降りたがらなかったのも、私が代わりに何周か走りました。バランスに慣れるのに時間がかかりますが、停止時、走行時の安定性が良かったです。普及するためには、自治体のきちんとした補助と、走行環境の整備も必要です。もちろん利用者がマナーに気をつけなければ、せっかくの安定性や安全性も意味がなくなってしまいます。でも、子供をおとなしく自転車に乗せるのは大変ですね。

松原 光也

お知らせ

ROBAが構成団体として参加する北陸連携並行在来線等活用市民会議の報告書ができました。下記にURLをお知らせ致します。ご一読のうえご意見賜れば幸いです。

<http://hokuriku.renkei.iinaa.net/>

近年、さまざまな媒体にえちぜん鉄道が取り上げられるようになりました。福井県民として嬉しい限りです。先日、共産党の「赤旗」にまで、えちぜん鉄道が取り上げられたとの情報が寄せられました。

記：清水

★ 友ちゃんの金沢特派員報告 第2号 ★

チャレンジ！ 歩行者が主役のタテマチ Street

今回は、金沢に関する報告です！

福井市ではときどき週末に西武周辺を歩行者天国にしてイベントを行ったりしていますね。私も何度か遊びに行きました。

金沢市にある豎町商店街では、常に時間帯を決めて許可証を持っていない車両の通行規制を実施しています。

しかし！！許可証を持っていない車両が入ってくるんです。。。

しかも、豎町商店街は若い女の子達のファッションストリートです。

荷物を運ぶトラックが出たり入ったり。。。

歩いている私達は横を通るクルマにドキッとさせられることもしばしば。

そこで。

豎町商店街は、歩行者が歩きやすい環境をつくるために立ち上がりました！

トラックで豎町商店街に荷物を運ぶ運送会社に協力を依頼して共同集配実験を行うことにしたのです。協力を依頼した運送会社のなかで期間中にタテマチ商店街に入ることができるのは大手2社の運送会社だけ。トラックの通行台数がぐ~っと少なくなります。

さらに、警備員を配置したりチラシを配ったりして違法車両の進入台数を減らすことも目指します。

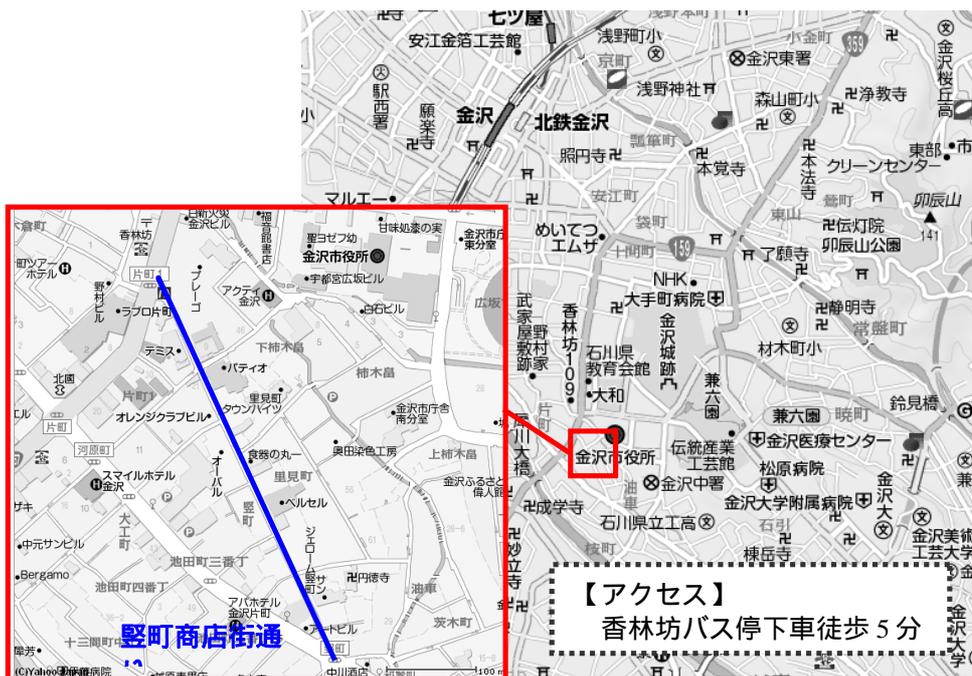
期間は、

今年の10月13日(火)～11月30日(月)までの49日間。

この期間中は、豎町商店街が変わります！

みなさん、歩行者が主役のタテマチを見に来てみませんか。

「豎町商店街のチャレンジ」に期待です。



「第40回森田地区文化祭」無料循環バス「森田みらいバス」17日(土)9:30 第1便発車!

テーマ「人と和と環境の祭典」 森田小学校

10月17日(土)10:00~16:00

- ・ステージ発表
- ・大ビンゴ大会

10月18日(日)10:00~15:00

- ・ステージ発表

・11:20~12:00

仁愛女子短期大学 音楽学科

「室内アンサンブル演奏会」

・13:00~14:30

記念講演会 / 講師 乙坂晃寿氏(明巖寺住職)

「壊れゆく地域社会、家庭そして子供たち」

軽食喫茶 環境パネル展示

ふくいサイエンス寺子屋(17日)

新聞エコバック作り(18日)

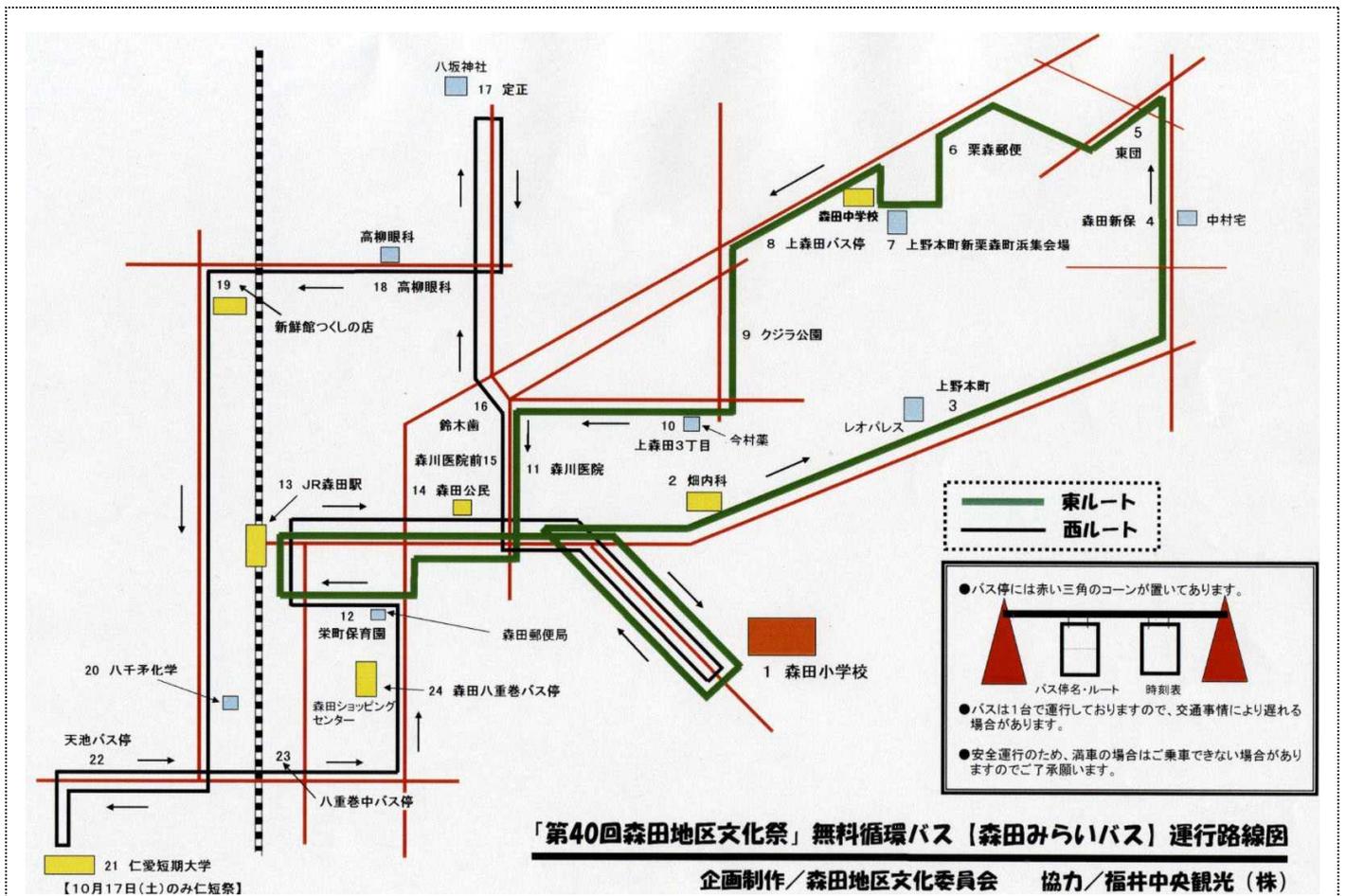


森田地区内を走る「森田みらいバス」



準備風景 / 応援 鳥居さん 090927

今回の時刻表は、森田小学校の始発時間をわかりやすくしたためJRとのつなぎは悪いものとなりました。循環バスの本格運行時は「つないで生きる公共交通」に沿った時刻表にしたいですね。 報告 / 林照



「第40回森田地区文化祭」無料循環バス【森田みらいバス】時刻表

10月17日(土)～18日(日)

	バス停名	1便	2便	3便	4便	5便	6便	7便
東 ル ト	1 森田小学校	9:30	10:30	11:30	13:30	14:30	15:30	16:30
	2 畑内科	32	32	32	32	32	32	32
	3 上野本町	34	34	34	34	34	34	34
	4 森田新保	36	36	36	36	36	36	36
	5 東団地	38	38	38	38	38	38	38
	6 栗森郵便局	40	40	40	40	40	40	40
	7 上野本町新栗森町浜集会場	41	41	41	41	41	41	41
	8 上森田バス停	43	43	43	43	43	43	43
	9 くじら公園	44	44	44	44	44	44	44
	10 上森田3丁目	45	45	45	45	45	45	45
	11 森川医院	46	46	46	46	46	46	46
	12 栄町保育園	49	49	49	49	49	49	49
	13 JR森田駅	50	50	50	50	50	50	50
	14 森田公民館	52	52	52	52	52	52	52
	1 森田小学校	9:54	10:54	11:54	13:54	14:54	15:54	
西 ル ト	1 森田小学校	10:00	11:00	12:00	14:00	15:00	16:00	
	15 森川医院前	02	02	02	02	02	02	
	16 鈴木歯科	03	03	03	03	03	03	16:46
	17 定正	05	05	05	05	05	05	48
	18 高柳眼科	07	07	07	07	07	07	50
	19 新鮮館つくしの店	08	08	08	08	08	08	51
	20 八千矛化学	10	10	10	10	10	10	53
	21 仁愛短期大学 【17日(土)のみ仁短祭】	12	12	12	12	12	12	55
	22 天池バス停	13	13	13	13	13	13	56
	23 八重巻中バス停	14	14	14	14	14	14	57
	24 森田八重巻バス停	16	16	16	16	16	16	59
	12 栄町保育園	18	18	18	18	18	18	17:01
	13 JR森田駅	19	19	19	19	19	19	02
	14 森田公民館	21	21	21	21	21	21	04
	1 森田小学校	10:23	11:23	12:23	14:23	15:23	16:23	17:06



作 / 漆寄 耕次

照ちゃんの気になる風景 part20



J R 敦賀駅

小便小僧は子供だから許されるのでしょうか。これがおとなの人形だったら、猥褻物陳列罪と軽犯罪（立つ小便）で逮捕されてしまいます。（逮捕というより警察に押収か？）

小便小僧の本家本元ベルギーでは、戦争中、広場に置かれた爆弾の導火線におしっこをかけて町を救ったという逸話が残っていて、市ではマスコットとして大切にしており博物館まであるらしい。

日本も負けていない。「JR浜松町駅 小便小僧 ギャラリー」のホームページをのぞくと、服を着た小便小僧の写真がたくさん掲載されている。月ごとに服装が変わっており、小便小僧がとてもなまなましく、この水で手を洗うのはちょっと・・・ためらってしまいます。

さてこの写真の小便小僧。いつ頃から設置されているかは不明ですが、かなり年季がはいっています。昔はあひるも飼われており、とてもメルヘンチックな情景の一画でした。個人的には、このオシッコ（いや失礼）、水の勢いはうらやましいかぎりです。失礼しました。

編集後記・・・編集委員より一言

林(変集長)

「森田みらいバス、皆さん乗りに来てね！」

内田(発行責任者)

「キンモクセイの香りが、秋の盛りを感じます」

事務局 特定非営利活動法人

ふくい路面電車とまちづくりの会(ROBA)

910-8031

福井市種池1丁目1905-3

TEL: 0776-25-7968

e-mail: roba@mbh.nifty.com

URL: <http://roba.cocolog-nifty.com/roba/home/>